

2024年3月18日

ティエムティ株式会社に関する説明資料



Microwave **Chemical**

**Make Wave,
Make World.**

世界が知らない世界をつくれ

アジェンダ

1. 本件概要
2. 本件の背景
3. 当社財務への影響
4. 今後の経営方針について
5. 参考情報：その他FAQ

本件概要

内容	<ul style="list-style-type: none">2024年6月に当社の関連会社であるティエムティ株式会社（以下、ティエムティ）のシヨ糖脂肪酸エステル事業の活動を停止2024年6月に同社の解散決議を行い、その後清算の手続きに入る予定所要の納品を行うため、生産自体は6月まで継続する予定債権者に対しては当社と太陽化学株式会社（以下、太陽化学）の資金により弁済を行うため、債務不履行は生じない
背景	<ul style="list-style-type: none">ティエムティは当社と太陽化学が共同出資して設立した会社であり、マイクロ波エマルジョン法を用いてシヨ糖脂肪酸エステルを生産・販売してきた。本年に入り設備トラブルにより生産を休止する事態となり、精査の結果、大幅な設備改造が必要と判明した。また市況環境としても中国メーカーを筆頭に競争が激化しており、再投資を実施したとしても競争力のある事業として継続することは困難と判断し、今後の損失負担を最小限にするために解散することにした。
当社財務への影響	<ul style="list-style-type: none">関係会社整理損1,029百万円を2024年3月期第4四半期の特別損失に計上予定うち、500百万円がキャッシュアウトとなる費用
今後の経営方針	<ul style="list-style-type: none">来期2025年3月期以降の業績に関しては本件による影響はない見込みであり、MWCC本体の事業進捗は順調であることから、現時点で当社経営方針に変更はない。

本件の背景

- 1 当社は、2015年4月にティエムティを太陽化学との共同出資により設立し、当社マイクロ波エマルジョン法のアプリケーションとしてショ糖脂肪酸エステル事業への取り組みを始め、2022年より本格生産を開始し、太陽化学を通じて顧客への供給を行ってきた。
 - 当社が技術面、太陽化学が販売面でそれぞれ貢献をすることで事業を成長させていくという戦略
- 2 しかしながら本年に入り設備トラブルにより生産を休止する事態となり、設備状況を精査した結果、大幅な設備改造が必要である事が判明した。
 - 具体的には、マイクロ波リアクターによる反応工程は想定通りのパフォーマンスだったが、他の工程で想定外の課題が発生し、その解決に時間と費用がかかることが分かった。
- 3 一方で、ショ糖脂肪酸エステルを取り巻く市況環境は、ティエムティ設立当初と比較して、中国メーカーの参入等により悪化しており、再投資を実施したとしても競争力のある事業として継続することは困難と判断した。今後の損失負担を最小限にするためにもティエムティを解散することで両社で合意した。

当社財務への影響

PL

- 関係会社整理損1,029百万円を2024年3月期第4四半期の特別損失に計上予定。うち、
 - ① 当社が有するティエムティ株式の帳簿価額319百万円を評価減
 - ② 当社のティエムティに対する債権210百万円について貸倒引当処理
 - ③ その他、事業終了に伴う費用として500百万円を資金拠出するとともに貸倒引当処理

CF

- キャッシュフロー上のインパクトとしては、上記のうち③事業終了に伴う費用の資金拠出500百万円がキャッシュアウトとして発生



今後の経営方針について

- 当社が現在展開している、技術プラットフォームを顧客にソリューションとして提供する事業は順調に進捗
 - 本件による特別損失の影響を除けば、今年度通期予算を達成する見込み
 - また、来期2025年3月期以降の業績に関しては本件による影響はない見込み
- 上記を踏まえ、従前より開示している成長戦略や経営の方向性に変更はない方針

参考情報：その他FAQ

#	Question	Answer
1	<ul style="list-style-type: none">解散以外の選択肢として、どちらかが事業を引き取って継続したり、他社に売却したりすることは検討しなかったのか。	<ul style="list-style-type: none">事業継続や第三者との取引を含めて考えられるオプションについては両社で検討を重ねたが、迅速な解散の実行により今後の損失負担を最小限にすることが最善であると判断した。
2	<ul style="list-style-type: none">顧客からの引き合いがあったのであれば、黒字化するまで経営を継続し、それから売却を検討した方が良かったのではないか。	<ul style="list-style-type: none">同上
3	<ul style="list-style-type: none">解散をしなかった場合は今後どれくらいの損益を見込んでいたのか。	<ul style="list-style-type: none">顧客との関係もあり開示できない。
4	<ul style="list-style-type: none">製品の供給先に対してはどのような対応を取るのか。	<ul style="list-style-type: none">供給先には事業終了をご承諾頂いている。所要の納品を行うため、生産自体は6月まで継続し、その後清算手続きに入る予定である。
5	<ul style="list-style-type: none">金融機関などの債権者に対してはどのような対応を取るのか。債務不履行に陥るのではないか。	<ul style="list-style-type: none">金融機関とも円滑に協議を進めている。債権者に対しては合併出資者である当社と太陽化学の資金により弁済する方針であり、債務不履行は生じない。
6	<ul style="list-style-type: none">ティエムティの社員の雇用はどうなるのか。	<ul style="list-style-type: none">合併出資者である、当社及び太陽化学にて雇用を承継する想定である。
7	<ul style="list-style-type: none">MWCCのマイクロ波技術が想定通りに機能しなかったということなのか。	<ul style="list-style-type: none">マイクロ波利用によるショ糖脂肪酸エステル生産技術は確立されており、マイクロ波リアクターによる反応工程は想定通りのパフォーマンスだったが、その他の工程で想定外の課題が発生した。
8	<ul style="list-style-type: none">他社との共同開発への影響についてはどう考えているか。本件以外にも中止を検討している案件はあるか。	<ul style="list-style-type: none">問題ないと考えている。また、中止を検討している案件はない。

End of Document



Microwave **Chemical**

**Make Wave,
Make World.**

世界が知らない世界をつくれ